

8月の植物

コガンピ (ジンチョウゲ科)

Diplomorpha ganpi (Sieb. et Zucc.) Nakai

別名 イヌガンピ, ノガンピ

数年前友人と県西部の高地の草原に植物調査に行ったとき、なにやら総状に白い花を多数付けた植物2株が目についた。私はコガンピを見たことがなかったので、早速、図鑑等で調べ、確認した。佐賀県準絶滅危惧種に指定され、個体数が少ない植物と思っていたが、その後の調査で20株ほど列を作って咲いているのを目の当たりにして驚いた。

コガンピは樹高さ40~60cmになる落葉の草状小低木で山野の草地に生え、葉は多数接近し互生し葉柄は殆どない。花期は7月~9月で白色から薄いピンク色の花を咲かせる。萼筒は細長い円柱形で先が4裂して、雄しべ8本、雌しべ1本がある。

分布は本州から九州、朝鮮。本県では西部の高原草地に見ることができる。

和名のコガンピは和紙の原料にされるガンピに似て小さいのでコガンピの名があり、別名のイヌガンピは繊維が弱く和紙の原料にならないので「イヌ」がつく。

県内の類似種のガンピは県西部の日当たりのよい岩場などに生え、葉は互生し、春に淡黄色の花を咲かせる。また同じくキガンピはやや山地に生え葉は対生し、夏に黄色い花を咲かせる。

(文責 井手義信)



(左上枠はガンピ、右下枠はキガンピ)

2021.8.10 嬉野市